

当院では以下の研究を実施しております。

この研究では、通常の診療で得られた過去の記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

退院後の LSA の変化によるリハビリテーションサービス利用の有用性の検証

1. 研究の対象

2021年9月1日～2023年3月31日の期間で、回復期病棟に入院された患者の内、回復期退院1か月後、6か月後に追跡調査の聞き取りをおこなった方。

2. 研究目的・方法

目的：本研究は、回復期病棟退院後の訪問リハビリ・外来リハビリサービスの利用状況と LSA (Life Space Assessment：生活範囲を寝室から町外までを5段階に分類し活動量を得点化したもの) を解析し、リハビリテーションサービスの有用性を検証することを目的としています。

方法：対象患者を診療録(カルテ)・聞き取り調査から後ろ向きに抽出します。回復期を退院後、LSAが10点以上の増加した患者と10点以上減少した患者、変化しなかった患者の群に分け、サービスの利用状況(外来リハビリ、訪問リハビリ、サービス利用なし)との関係性を解析し、サービス利用の有用性について検証します。

この研究は、2025年2月14日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

過去の聞き取り調査での LSA (Life Space Assessment) や診療録(カルテ)に記載されているリハビリテーション介入における訓練内容や評価記録(MMSE)、ADLや身体機能尺度(BI、FIMの歩行・移動・移乗項目のスコア)を収集・調査します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒140-8522 東京都品川区東大井6-3-22 東京品川病院

代表番号：03-3764-0511

研究責任者：東京品川病院 医療技術部リハビリテーション科 宮本 和幸

(2024年10月21日作成)